

府中市健康地域づくり審議会
第16回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：平成30年2月1日（木）15時00分から16時30分まで
(2)場 所：市役所4階第二委員会室
(3)出席者：宮 口 英 昭（分科会会長） 橘 高 積（分科会副会長）
寺 岡 暉（職権委員） 重 森 由 枝（分科会委員）
前 原 裕 吉（分科会委員） 藤 本 命 壮（分科会委員）
守 屋 綾 子（分科会委員） 佐 伯 邦 章（分科会委員）
(4)欠席者：なし

2 概要

- (1)開 会
(2)分科会会長あいさつ
(3)議事

①平成29年度熟年元気づくり分科会の活動について

●関係資料の説明

事務局から「政策指標・重点項目の概要について」について、資料により説明を行った。

②生きがい創業ビジネス補助金

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創業ビジネス補助金」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○内容が多種多様にあるので、これまで申請し、交付した事例をもっと周知することで申請の目安になるのではないか。

○プラチナ大学と生きがい創業ビジネス補助金が平行線になっていると感じるので、プラチナ大学を受講した人に対して、補助金のことについても積極的にPRをしたほうが良いのではないか。

③プラチナ大学

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 10月から始めると、講座終了後に創業ビジネス補助金の申請が間に合わなくなるので、10月くらいに終わるような計画をしたほうが良いのではないか。
- 外部委託での企画にあたっては、フクビズに相談してみてはどうか。
- プラチナ大学受講者と補助金を交付した団体を小グループにして、実際に体験されたことをやりとりするような講座形式が良いのではないか。
- 地域おこし協力隊に関わってもらおうよう働きかけてみてはどうか。
- まちなか繁盛隊など、府中の活性化のために取り組んでおられる方に視点をあてていってはどうか。

④育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築

●関係資料の説明

事務局から「育児・家事支援への高齢者派遣等事業の制度の構築」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 拠点として、公民館などの小さい地域で始めていかないと難しいのではないか。また、実施している地域同士が集まって意見交換しあう場も必要なのでは。
- 制度を構築し、実行するにあたっては、主体となる人をプラチナ大学などを活用して発掘していく必要がある。

⑤コミュニティ・キッチン開設支援

●関係資料の説明

事務局から「コミュニティ・キッチン開設支援」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 市として大きな仕組みを作り、各地域でまずは1回やってみてもらったら、やりたい人が集まりやすくなるのではないか。
- 元気もりもり体操をやっている団体や、生き生きサロンなど、既存の団体を活

用して参加してもらい、雑務的な部分はどこか外のところが担うような形を検討してはどうか。

○食事の提供にとらわれず、割引であったり、認知症カフェのような形でもいいのではないかと。参加者が役割を持ち、相互に関わりあっていく形で運営されることが必要。

⑥地域福祉計画について

●関係資料の説明

事務局から「地域福祉計画」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○社会福祉協議会の策定する地域福祉活動計画と、市の策定する地域福祉計画が現状としてはリンクしたものになっていないので、次回の策定時には連携をお願いしたい。

⑦平成 30 年度の分科会開催予定

●関係資料の説明

事務局から「平成 30 年度の分科会開催予定」について、資料により説明を行った。

⑧平成 29 年度施策の実績・成果のまとめ及び平成 30 年度分科会施策の管理シートについて

●関係資料の説明

事務局から「平成 29 年度施策の実績・成果のまとめ及び平成 30 年度分科会施策の管理シート」について、資料により説明を行った。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○生きがい創業ビジネス補助金については初年度よりも取組が具体化している。

○次年度も事業を継続して取り組むこと。

(4)閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」、「コミュニティ・キッチン」の開設支援、「育児・家事支援への高齢者派遣等事業」へのご指摘・ご意見等を来年度の運営に生かしていくとともに、平成 29 年度の取

り組み施策等については、審議会への報告事項とする旨を述べた。

橘高副会長から、「我々の活動には選択と集中が必要であり、そのために具体的な活動計画が必要である。委員の皆様方の引き続きのご意見とご協力をお願いします」と挨拶があり、閉会とした。